

各務原市の PFOS/PFOA に関する専門家会議（第2回）【議事概要】

- 1 日時：令和6年7月26日（金） 10：00～12：10
- 2 場所：県庁20階 2001会議室
- 3 委員：4名中3名出席
神谷 浩二 岐阜大学工学部社会基盤工学科教授（座長）
村野 宏達 名城大学農学部生物環境科学科教授
小島 悠揮 岐阜大学工学部社会基盤工学科准教授
廣岡佳弥子 岐阜大学環境社会共生体研究センター准教授（欠席）
- 4 事務局：岐阜県環境生活部長、環境生活部次長
各務原市市民生活部長、環境室長兼環境政策課長
- 5 議事：周辺井戸水追加調査結果
地下水に関する基礎情報収集・分析結果
PFAS使用・保管実績のアンケート調査結果
これまでの調査結果を踏まえた今後の進め方について

<委員からの意見>

（地下水に関する基礎情報収集・分析結果について）

○渇水期と豊水期における流向の変化については、降水量や河川との関連についても確認する必要がある。

○地下水の流向や流速については推計であり、様々な状況によって幅があると考えられるため、推定結果の取り扱いには留意が必要である。

○今後もこの地下水に関する分析結果の資料を活用していく方針で良いと考える。

（PFAS使用・保管実績のアンケート調査結果について）

○使用保管について、PFAS類似品も含め「はい」と回答した事業場は、どういう事業場か。ヒアリングするのに有効と思われる所が入っているか。

→PFAS類似品も含め「はい」と回答したのは、いずれも官公庁であり、航空自衛隊岐阜基地、県保健環境研究所、各務原市産業文化センターである。

○今後のヒアリングについて、P F A S 含有製品が保管時に漏洩していた可能性も考えられるため、使用状況だけでなく、保管量や保管期間についても確認した方がよい。

(今後の進め方について)

○追加調査結果を踏まえたメッシュ図の公表について、特に問題はないと考える。ホームページ上でも公表されたい。

(井戸水等の継続モニタリング (案) について)

○継続モニタリングの初回であり、幅広い地点で手厚くモニタリングを開始した方がよい。特に高濃度を検出した井戸の追加を検討すべき。

○航空自衛隊岐阜基地内の井戸についても、継続的なモニタリング調査の実施とその調査結果の提供を依頼されたい。

○汚染範囲の変動と関連する可能性があるため、井戸水の採水時に各井戸の揚水状況を把握しておくが良い。

○河川水の採水時に水深や水量をできるだけ測った方がよい。

○モニタリング井戸位置図を公表する際には、個人の井戸等の位置が特定されないよう配慮するとともに、地下水流向と合わせて示すなど、モニタリング地点の選定根拠が分かりやすいように工夫すべき。